

展開例1 「GAKUTAN」の結果を振り返る

1. ねらい

- ①自分をj知ること、学問の適性、進路設計を考えることに意欲や関心をもつことができる。
- ②将来の夢や希望の進路に向けて、今から取り組むべきことを考えることができる。
- ③自分の良いところ、伸ばすべきところについて、具体的に把握することができる。
- ④「GAKUTAN」の測定する特性と生徒用「アドバイスシート」の結果を適切に理解する。

2. 準備するもの

- ①生徒用ハンドブック「GAKUTANブック」
- ②生徒用「アドバイスシート」
- ③ワークシート「ワーク1 『GAKUTAN』の結果を振り返り、学問を探究しよう」(「GAKUTANブック」7ページ)

3. 展開 (50分)

○：指導上の留意点 ◆：評価規準

	時間	学習内容・活動	指導上の留意点および評価
導入	10分	<p>1. 「GAKUTAN」の目的を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「GAKUTANブック」2ページを開きながら、GAKUTAN実施の趣旨をしっかりと理解させる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>GAKUTANは漢字だと“学探”です。「学問を探究しよう」という意味で名付けています。今どうして学問を知らなければならないのでしょうか。何となく自分に合っそう、面白そう、という気分で進路選択をするのはとても危険です。</p> <p>あなたの先輩の中で進学後に「この学部・学科で失敗した」と、後悔している人もいます。その理由は、授業がつまらなかった、想像していたものと違った、苦手な授業が多い、というものです。</p> </div>	<p>○11ページからの「学問リサーチ」の中から、1つを選んで右側のカリキュラム(授業時間表)を読ませる。意外な授業名があるか確認させる。</p> <p>○同じ「学問リサーチ」の“卒業後の進路”から学問と職業の結びつきを確認させる。</p> <p>◆自分をj知ること、進路の適性、進路設計を考えることに意欲や関心をもてたか。</p>
展開 1	15分	<p>2. 生徒用「アドバイスシート」を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希望を実現する <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>希望実現アドバイスを読んでみましょう。自分の希望に適性が高かった人もいれば、あまり高くなかった人もいるでしょう。ここには自分の伸ばすところ、頑張るところが書かれています。ぜひ参考にしてください。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・個性を知る <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>ここには3種類のあなたの個性に関するデータがあります。最初は能力プロフィールです。とくに英語能力は教科・科目と違って英語に関する潜在的なセンスが測定されています。次の興味プロフィールはあなたの「好き」を測っています。好きという意識から学びたいことをまず考えますよね。最後は性格プロフィールです。学問でも根気</p> </div>	<p>○GAKUTANブックの3ページから6ページまでを簡単に解説する。自分のデータのどこが大切かを理解させる。</p> <p>○4ページと「アドバイスシート」の「個性を知る」に注目させる。最終的には自分の個性は自分で検討して学問に結びつけることが大切なことを教えたい。</p>

時間	学習内容・活動	指導上の留意点および評価
	<p>強い人が適したり、積極的な人が適するものってありますよね。</p> <p>・適性を探す</p> <p>今希望の学問に適性が低くても、学問を知ることと違う学問が好きになったり、希望の学問に適する個性をこれから身につけることができます。あなたの将来は広く開かれていると思ってください。</p>	<p>◆「アドバイスシート」が読み取れるようになったか。</p>
展開 2	<p>20分</p> <p>3. 7ページの結果の振り返りワークを行う。</p> <p>・「1. 『個性を知る』を振り返る」で結果の予想とそう感じた理由を記入する。</p> <p>・「学問を探究する」を行う。希望の確認のあと同じ希望分野の中から具体的に学問を選んでみる。</p> <p>・選んだ学問を読んで、カリキュラムや教授や先輩の意見などから感想を記述する。</p> <p>・この学問を学ぶためにこれからやらなければならない課題や取り組みを考える。</p>	<p>○自分に適した学問は、結局自ら探し求めなければならないことを学習させる。</p> <p>◆自分が考える自分の個性と「GAKUTAN」の結果でわかった自分の個性について考えることができたか。</p> <p>○「GAKUTANブック」の「学問リサーチ」の見方を確認させる。さまざまな学問がある中で、自己イメージとかけ離れたものや、イメージ自体がないものなどがたくさんあることを理解させる。</p> <p>○職業リサーチと資格・検定リサーチも確認させる。大学に入学して資格などをとるのなら、学部が限定されることもある。また大学卒業後にどのような職業に就きたいのか、今から将来像を形成することは大切である。</p> <p>◆第1希望の学問領域への理解を深めることができたか。</p> <p>◆希望する学問を学ぶために今から取り組むべきことを具体的に考えることができたか。</p>
まとめ	<p>5分</p> <p>4. 学習活動を通じて適性検査の結果から自分の個性を考え始めることができたか、学問の内容をしっかりと探究することの大事さを理解することができたかを確認する。</p>	<p>○総合適性に疑問がある場合は1ページを読ませる。</p> <p>○検査の適性結果より自己理解を優先させ、そこから学問の世界に導く。</p> <p>◆自分の個性を客観的にとらえ、自分の進学希望先の適性が理解できたか。</p>

4

ワーク1 『GAKUTAN』の結果を振り返り、学問を探究しよう

年 月 日

1. 「個性を知る」を振り返る

①アドバイスシートの「個性を知る」を見てください。結果は予想通りでしたか、意外でしたか？ 下の□にチェックしましょう。

能力プロフィール

予想通り 意外

興味プロフィール

予想通り 意外

性格プロフィール

予想通り 意外

②①のように感じた理由を書いてみましょう。

記入例 自分は英語が得意なほうだと思っていたけれど能力プロフィールで低く出たので残念だった。性格プロフィールでは対人積極性が高かった。普段友だちに話しかけたりみんなを誘って遊びの計画を立てたりするほうなので予想通りだと思った。

2. 学問を探究する

①あなたのアドバイスシートを見て、第1希望の学問分野を下の欄に書いてみましょう。「未定」だった場合は6ページの表の1～25から興味のある学問分野を選んで書きましょう。

あなたの第1希望の学問分野

記入例 4. 人間の行動や意識の研究

②9ページからの「第2部 学問リサーチ」では、学問分野がいくつかの学問に分かれて紹介されています。10ページの「CONTENTS」を見て、①で書いた学問分野の中から勉強してみたいと思った学問を1つ選んで下の欄に書きましょう。

勉強してみたいと思った学問

記入例 心理学

③②で書いた学問について「第2部 学問リサーチ」の該当ページを読んで詳しく調べてみましょう。そして感じたことを書いてみましょう。

記入例 時間割の中に初めて聞いた授業の名前があった。心理学にもいろいろな種類があるんだなと思った。

④将来この学問を学ぶために、これから取り組むべきことは何でしょうか。アドバイスシートの「希望を実現する 2. こうすれば自己実現への一歩が始まる」や、「第2部 学問リサーチ」の「高校で力を入れたい教科・科目」などを参考にしながら、これから取り組むことや心がけることを書いてみましょう。

記入例 心理学は文系だと思っていたけど、高校で力を入れたい教科・科目に数学もあったので文系科目だけではなくて数学も頑張る。心理学ではどんなことを勉強するのかもっと調べてみる。